

「理科教育振興支援」

【－ものづくり人材の裾野拡大ならびに STEM 教育の推進支援プロジェクト－】

第 2 次応募要項

1. 趣 旨

昨年度に引き続き、東工大基金を活用して社会への貢献を促進するため、次のテーマにおいて「理科教育振興支援（ものづくり人材の裾野拡大ならびに STEM 教育の推進支援プロジェクト）」を実施する。

産業の空洞化、人材・技術の流出が社会的課題になっている中で、科学技術創造立国の確立を目指す我が国にとって、将来のものづくり人材の裾野を拡大ならびに IT 社会とグローバル社会に適応した国際社会を持った人材を輩出することが肝要である。

このため、「第 3 期中期目標・中期計画」に掲げる「初等中等教育の理科教育への支援」を実践する、我が国の将来を担う小・中・高校生を対象とした知的創造性を育む活動やイベント開催に対して、補助予算を配分しその促進を図る。

2. 応募資格

本学の教職員（非常勤職員含む）又は学生

3. 応募の概要

- (1) 別添様式により応募する。
なお、学生が主催する活動においては、本学教職員が予算詳細責任者となり、経費の執行を行うため、サークル等の顧問教員、助言教員等の協力を得ること。
- (2) 審査に当たっては、卒業生、地域社会、企業等と有機的に連携する事業を優先する。
- (3) 本プロジェクトとして認められたものについて、1 件につき 50 万円以内で補助を行う。
- (4) 応募期間は、令和 3 年 9 月 6 日～令和 3 年 9 月 30 日までとする。
（支援期間は、令和 4 年 3 月 31 日まで）
- (5) 経費執行等の取扱いは、大学の会計規程等に則するものとする。なお、換金性の高いパソコン等の消耗品の購入は、認めない。

[注意事項]

*審査は、副学長（常勤）が行う。

*イベントの紹介や挨拶の中に本プロジェクト名を明記する。

*実施に当たっては、適切な人数の配置、保険加入等参加者への安全配慮を徹底する。
学内で公開実験等を伴うイベントについては、本学所定のリスクアセスメントを実施する。

*本支援経費を使用して行った活動終了時に、活動報告書を作成し提出する。なお、活動報告書の内容は、ウェブ等で広く紹介する予定である。

*感謝の集いなど東工大基金に係るイベントに、要請に応じて、参加する。

*イベント等開催の際は、新型コロナウイルス感染症に対する予防対策を十分に行った上で、実施すること。

4. 応募方法

○box, メールにより応募。応募先は以下のとおり。

応募先：社会連携課基金グループ 内線：2415,2417, FAX：2485

メール BOX：T-2 E-mail：sya.kik@jim.titech.ac.jp 担当：宮島